

(1) おがさわら丸船上から丸船上からの眺望景観 (二見港周辺の景観)

■一番最初に出会う小笠原の街並み景観



眺望上の評価

【湾外からの眺望】

- 父島が近づき、船上からも二見港周辺の街並みが認識できるようになると、海上自衛隊関連の施設をはじめ、旧赤間ホテル、小笠原住宅、発電所施設などがはつきり認識される。
- 一番手前にある自衛隊関連の施設群が目立つほか、小笠原住宅や旧赤間ホテルなど、高さのある建物が目立っている。
- また、青色の屋根なども強く印象付けられる。

■二見港湾内部分からの眺望 (西町～東町方向)

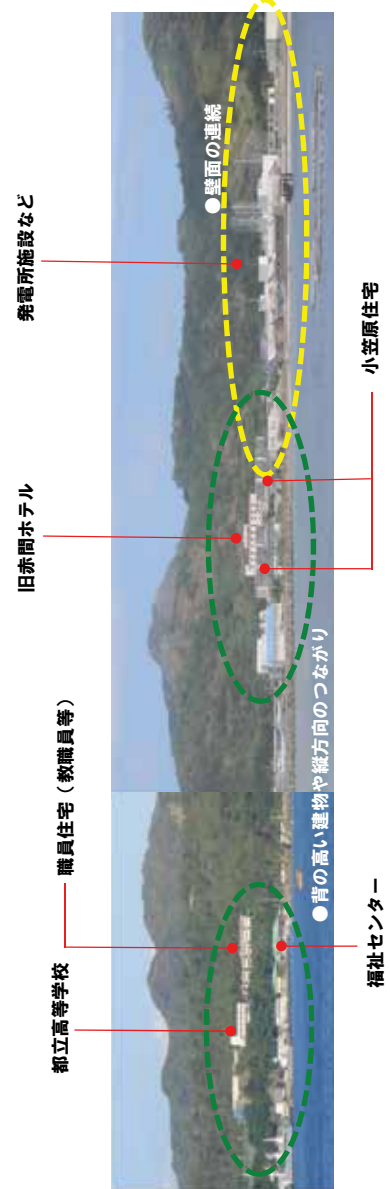


眺望上の評価

【二見港湾内からの眺望】

- いよいよ湾内に入ってくると、奥村～清瀬～東町・西町を一望することができる。
- 西町・東町方面では官庁エリアや学校エリアの大ポリュームの壁面が目立っている。
- また、二見港の船客待合所の曲線を使った建物形状も視認性が高い。
- 大神山公園の緑がある部分では、建物によるインパクトが軽減されている。

■二見港湾内部分からの眺望 (清瀬～奥村方向)



眺望上の評価

【二見港湾内から清瀬～奥村方面の眺望】

- 奥村湾岸部の諸施設と住宅棟、旧赤間ホテルなどがひとまとまりにつながって見え、人工構造物が作り出す水際の景観に、小笠原のイメージとのギャップを感じる。
- 福祉センターの屋根のエメラルドグリーンなどは強く印象付けられる。

(2) おがさわら丸船上からの眺望 (大村海岸周辺の景観)

【大神山展望台から西町・東町を望む】



**眺望上の評価**

- 大神山展望台(神社上方)から眺める西町・東町は、各種公共施設をはじめとした建物が集中した人工的な風景となっている。
- その中で、大神山公園の緑が海岸との間のバッファゾーンとして効いている。

【自衛隊敷地内から海岸沿いを望む】



【青灯台堤防橋から海岸沿いを望む】



**眺望上の評価**

- 父島の中で一番身近な浜辺の景観
- 大神山公園の緑が途切れた場所にあるデジタルセンターと気象観測所施設の視認性が高い。
- 自衛隊施設は海岸との間に緑地やオープンスペースがあるため、余り目立っていない。



### (3) 赤灯台からの眺望（トビオオ栈橋周辺の景観）

#### ■水道施設（配水タンク）



○山間の木々の合間に設置されているが、輝度の高いシルバークの塗装が眺望上目立っている。

#### ■火力発電所～施設群による無機質な風景～



○海岸近くに立地していることと、コンクリートウォールや施設壁面等があらわになっっていることで、景観上に強いインパクトを与えている。

#### ■屏風谷長大護岸～違和感のある人工構造物～



○屏風谷の足下にあるコンクリートブロック積みみの道路護岸は、周囲の岩肌景観の中で異質な人工構造物として認識される。

#### ■海洋センター～突出した色彩～



○施設自体の規模は大きくないが、屋根部分のオレンジ色の塗装が強く、周囲の色環境にもない色味のため、遠景においても強く認識される。

#### グラウンドフェンス



#### 【赤灯台から清瀬～興村方面を望む】



国有地内の倉庫・飯場小屋群 福祉センター

二見港

#### 眺望上の評価

##### 【水産センター付近】

○前後の建築が重なってボリュームのある建築群となり、後背の山並みを分断して見える。  
○ガラスやスチールフレーム、鉄塔などの人工素材感が集中

##### 【埠頭エリア】

○水際の風景になじまない建築群

##### 【福祉センター】

○後背の山並みの中で屋根の色に違和感を感じる。

##### 【興村エリア】

○旧赤間ホテルや小笠原住宅などが周囲の街並みから突出した存在として認識される。

##### 【海岸部の施設エリア】

○小笠原の水際の景観としてはなじまない印象を受ける。（形態、素材感など）  
○施設が集積して大きな壁面として認識される。

ふかかん  
 (4) 大神山パノラマ展望台からの360°眺望 その1 (清瀬～奥村エリアの俯瞰景観)

■小笠原住宅ア・イ



■小笠原住宅ウ



■職員住宅



■職員住宅



○個々の住棟は4層程度に抑えられているが、板状の建物形状や住棟が集中していること、斜面地を切り開いた造成宅地であることなどから、視認性が高まっている。  
 ○各住棟の壁面などは無彩色になっているが、住棟が連続して見えてくることで、大きな建築ボリュームとして感じられる。  
 ○各敷地周辺を囲むような緑が少ないため、大きなドライな面が見えている。  
 ○特に職員住宅の青い屋根については、周りの自然の色彩環境の中で突出して見えている。(小笠原住宅アなどは、比較的周囲の色彩に溶け込んでいる。)

【大神山展望台から西町・東町方面を望む】



小笠原支庁  
 小学校  
 中学校

船見山  
 大根山  
 洲崎  
 二見港

■小笠原住宅ア



○西町～東町エリアは、庁舎建築物をはじめ、小・中学校など、大型建築物が集中しており、俯瞰景観においても連続する人工要素群として視認されてくる。

○低層ではあるが、分節化されていない建物長や、緑化修景されていない駐車場、大きく切り立った宅盤のコンクリート擁壁面などが景観面を与えている影響は大きい。

【大神山パノラマ展望台から宮之浜～西町・東町方面を望む】



小笠原住宅ア  
 小笠原住宅イ  
 小笠原住宅ウ

職員住宅  
 小笠原住宅

船見山

三日月山

連続して認識される

診療所

清瀬

眺望上の評価

【西町・東町エリアの眺望】

○多くの公共施設が集中している地区でもあり、全体的に白っぽい人工物の連続として認識される。

【清瀬住宅エリアの景観】

○同じような陸屋根の建物形状や白っぽい色彩が集中していることで、後背の斜面林の中で違和感を感じる存在となっている。  
 ○特に、明るい青屋根は、周囲の色環境にはない色味であり、強く目を引いてしまう。  
 ○敷地周辺を囲む緑も少なく、周りの環境となじんでいない。



(5) 大神山パノラマ展望台からの360°眺望 その2 (清瀬～奥村エリアの俯瞰景観)

■福祉センター～突出した色彩～



○低層で、ポリュームとしても適宜、分割が施されている。また、壁面部分をアースカラーに抑えるなどの配慮がなされている。  
○屋根部分の塗装色が景観的に突出して見え、特に、近くにある高校グラウンドのフェンスのグリーンと類似しており、連続して見えることで、より景観上のインパクトが強まっている。

■小笠原住宅～周囲から浮き立ったポリューム～



○平場に整備されている5層の板状住宅  
○色彩的にも形態的にも特に強く主張する存在にはなっていないが、周囲が開放的な空間で、小さなポリュームの建物が多いため、眺望上、視認されやすくなっている。  
○特に、周囲に緑が不足しているため、足下の駐車場なども含めて、ドラインなエリアとして認識されやすい。

■旧赤間ホテル(役場倉庫)～周囲から突出した色彩・高さ・ポリューム～



○周囲に高い建物がないことと、背面が丘陵部になっているため、ポリューム的にも突出して見えている。  
○また、背後の緑地との比較の中で、白い壁とバラベットの部分のエンジ色が浮き立っている。

【大神山パノラマ展望台から清瀬方面を望む】



眺望上の評価

【グラウンドフェンス～福祉センターエリアの景観】  
○福祉センターの屋根、グラウンドフェンスの緑系の色彩が強く視認されている。

【奥村平場エリア 旧赤間ホテル～小笠原住宅付近の景観】

○周囲の低層で小規模な建築ポリュームの空間の中で、抜き出た建物高さや壁面の大きさが目につく。  
○特に小笠原住宅足下辺りは植栽も少なく、遠景ではドライな空間として認識される。

【火力発電所エリアの景観】

○施設が累積していることで大きな壁面として認識される。  
○この辺りは植栽も少なく、遠景ではドライな空間として認識される。

(6) 三日月山からの眺望 (西町・東町エリアの俯瞰景観)

ふかん

■ NTT



○平地部からは見えてこないが、高台からの眺望になると意外に目につく。

■小笠原支庁舎



○斜面地形にうまく沈み込むように造られているが、俯瞰景観の中では屋根などが大きく見えてくる。

■村役場



○3棟に分棟していたり、勾配屋根にするなどの工夫が見られるが、大きな屋根面は目立つ。特に退色した屋根色は課題。

■小笠原小学校・中学校



○山裾の高台にあり、東西軸方向に長い建物形状は、平地側からも山頂からも共によく見えてくる。

【三日月山から二見港周辺を望む】



眺望上の評価

【清瀬～宮之浜の住宅地景観】

- 清瀬から宮之浜地区には学校施設や小笠原住宅などのボリュームの大きな建物が集まって建っているため、大きな人工的な壁面として認識されている。
- その中で、周囲の色環境にない屋根の色等は目を引いている。

【西町・東町の官庁通りの景観】

- 主要な公共施設が集積しており、その大きな屋根面が目立っている。
- 全体的に人工的な要素が多い西町・東町の中にあつて、大神山公園や三角広場の緑は、ドライな印象を和らげる効果を持っている。

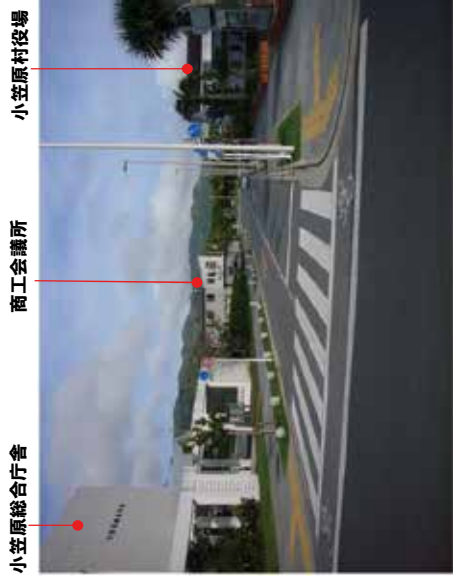


(7) まち中の見通し景観（平場から目につく要素）

【ビジターセンター方面から都道交差点方面を望む】



【支庁前から都道交差点方面を望む～官庁通り】



**眺望上の評価**

- ゆったりとした幅員の道路のため、開放的な景観になっている。
- しっかりととした街路樹がないため、沿道の公共施設があらわに見える。
- 都道の左右で建物の色彩や形態が異なっており、シーンとしてのまとまりが感じられない。

【村道の見通し景観】

小笠原総合庁舎



駐車場

**眺望上の評価**

- 村道前面に使用されている舗装材（メトロレンガ）は、強く主張する色彩のため、落ち着いた騒がしい景観になっている。
- 観光客が利用するペンションや店が多く立地する村道沿いが、境界の緑の無い青空駐車場として利用されていることで、ドライな印象を受けるとともに、来訪者を迎える空間としては、ふさわしくない風景になっている。

小笠原村役場



駐車場

## (8) 母島の主要な眺望景観（ははじま丸からの眺望）

### ■一番最初に会う母島の街並み景観



### 眺望上の評価

○水際線と山並みからなる自然な眺望景観を分断し、損なうような大ボリュームの施設や工作物はほとんどない。



小・中学校



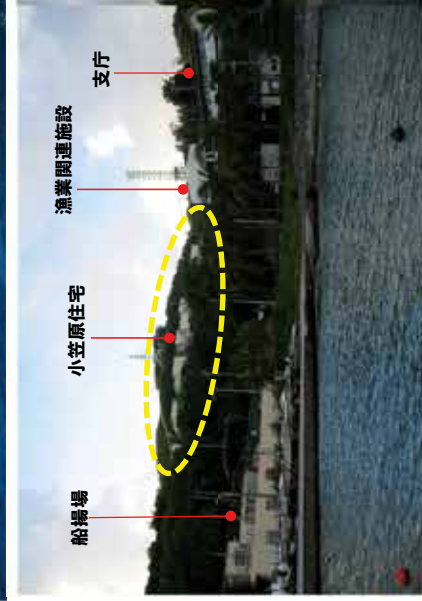
小・中学校



ローズ記念館



小笠原住宅



### 眺望上の評価

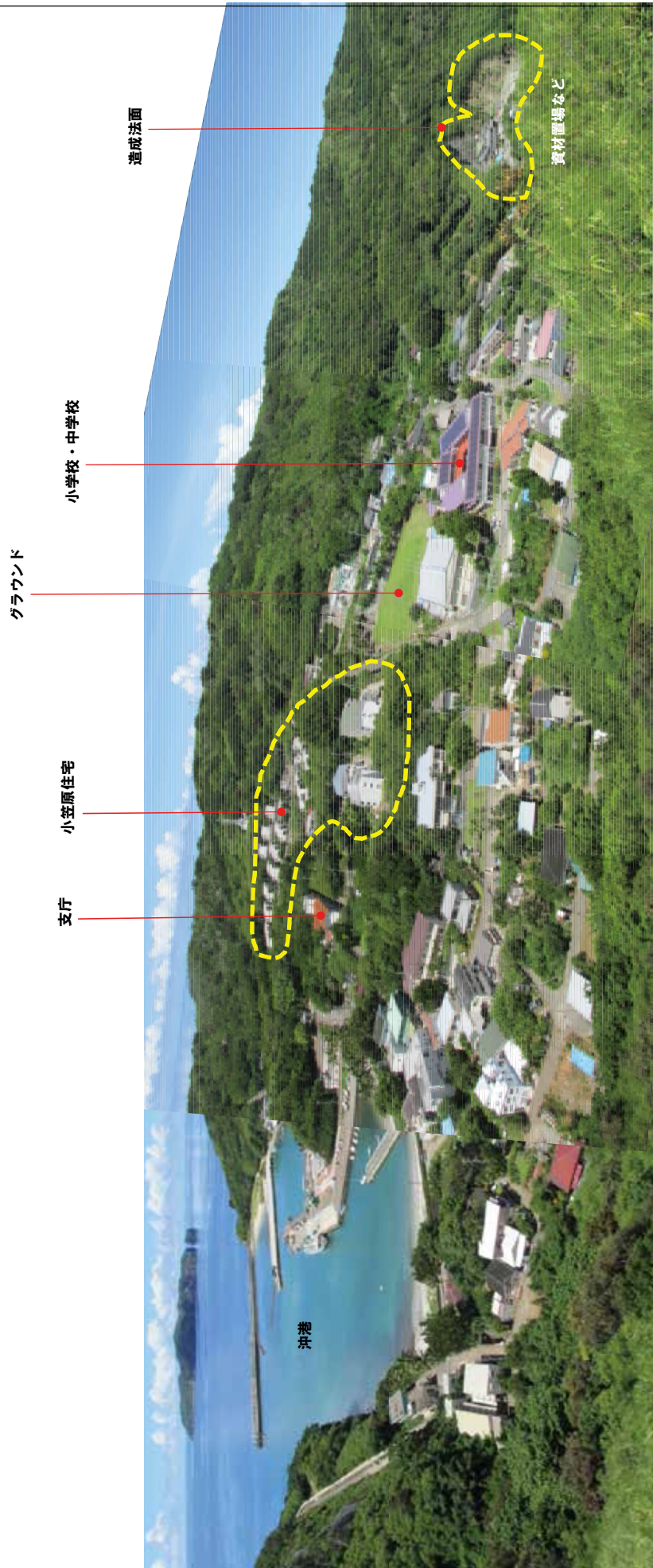
#### 【母島沖港湾内からの眺望】

- 海岸沿いの緑があることで、支庁など、海岸沿いに建ち並ぶ建物をうまくなじませている。
- 水際景観の中で、し原中継ポンプ所施設とコンクリート護岸が、景観的になじんでいない。
- 評議平の斜面に施された落石防止ネットが目立っている。



(9) 母島の主要な眺望景観（高台からの眺望）

■小剣先山展望台からまち中を見下ろす



**眺望上の評価**

【高台からの見下ろし眺望】

- 谷間の平場から沖港までの空間の中にコンパクトにまとまっている。
- ほとんどが低層の建築物であり、眺望（俯瞰）景観上、大きな影響を与えようなものは見られない。（特に小笠原住宅は大きな板状の建築物ではなく、分節化されていることで景観上の影響が抑えられている。）
- ボリュームの大きな建築物としては小学校・中学校がある。
- 民間事業所の資材置場や宅地造成に伴う長大なコンクリート擁壁など、修景が必要な箇所が見られる。